



## 地域ミニマム活性化のため 地域住民の活動拠点の整備を推進せよ

緑水クラブ 横溝 泰世

答 地域福祉活動計画のほか、総合計画や公共施設再配置計画にもかかわるため、社会福祉協議会や関係部署と十分な意思疎通と連携を図りながら取り組んでいきたい。

要望 費用的な問題を考え、公共施設を活用した整備をしてほしい。

三 教職員に対するソーシャルスキル研修について

問 問題行動調査をきっかけに始まつたソーシャルスキルアップ研修の取り組み状況はどのようか。

答 学校でのロールプレーやケース会議の実施については、在り方を検討し、充実を図つていきたい。



ほつとワークつるまでの活動の様子

一 障害福祉サービスの支給決定について

問 ※就労継続支援B型のサービスは、障害者総合支援法に基づく、障がい者の自立に向かた重要な支援の一つである。特別支援学校の卒業生が利用する場合、平成27年度から手続きが変更されるが、対応はどうか。

答 特別支援学校や近隣市を含めた就労支援事業所と連携し、適切なアセスメントに基づく個々の特性に配慮した支援を行える体制が、整備されるよう努めていきたい。

二 地域活性化に向けた地域福祉の拠点整備について

問 店舗を利用した鶴巻地区社会福祉協議会の活動拠点「ほつとワークつるまき」の開設を契機に、地域コミュニティの活性化を目的的に地域住民が活動する拠点整備を進めるべきと考えるがどうか。

答 まつたソーシャルスキルアップ研修が懸念される。また、建設費(単独校方式約27億円、給食センター

方式約17億4,000万円)や整備費(デリバリーフォード約2億200

0万円)を含めた経費、学校施設内での用地確保、給食費の徴収方

式約27億4,000万円)や整備

費(デリバリーフォード約2億200

0万円)を含めた経費、学校施設内での用地確保、給食費の徴収方

式約17億4,000万円)や整備

費(デリバリーフォード約2億200

0万円)を含めた絏費、学校施設内での用地確保、給食費の徴収方

式約17億4,000万円)や整備

費(デリバリーフォード約2億200

0万円)を含めた絏費、学校施設内での用地確保、給食費の徴収方